

会員事業所景況実態調査令和4年1月～令和4年3月分集計結果
調査依頼数:549 回答数 84 回答割合:15.3%

令和3年度4回目の会員事業所景況実態調査の調査結果について下記のとおり報告いたします。
 調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。
 ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

★DI値とは

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。
 ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

【質問 A】 前年同時期と比較した1月～3月の景況

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値	対比増減
全体	売上	10	30	44	84	▲ 40.5	▲ 15.2	▲25.3
	採算	7	38	38	83	▲ 37.3	▲ 22.8	▲14.5
	仕入単価	2	20	59	81	▲ 70.4	▲ 60.9	▲9.5
	従業員	18	57	6	81	14.8	21.5	▲6.7
	業況	5	43	35	83	▲ 36.1	▲ 22.8	▲13.3
	資金繰り	2	63	19	84	▲ 20.2	▲ 14.0	▲6.3
建設・建築業	売上	2	7	8	17	▲ 35.3	▲ 12.5	▲22.8
	採算	1	10	6	17	▲ 29.4	▲ 13.0	▲16.4
	仕入単価	0	2	15	17	▲ 88.2	▲ 66.7	▲21.6
	従業員	5	12	0	17	29.4	33.3	▲3.9
	業況	1	12	4	17	▲ 17.6	▲ 20.8	3.2
	資金繰り	0	15	2	17	▲ 11.8	▲ 8.3	▲3.4
製造業	売上	2	3	8	13	▲ 46.2	▲ 13.3	▲32.8
	採算	1	6	6	13	▲ 38.5	▲ 12.5	▲26.0
	仕入単価	0	2	11	13	▲ 84.6	▲ 80.0	▲4.6
	従業員	2	10	1	13	7.7	12.5	▲4.8
	業況	1	7	5	13	▲ 30.8	▲ 6.3	▲24.5
	資金繰り	0	12	1	13	▲ 7.7	▲ 18.8	11.1
卸・小売業	売上	2	4	8	14	▲ 42.9	▲ 20.0	▲22.9
	採算	2	3	8	13	▲ 46.2	▲ 20.0	▲26.2
	仕入単価	1	4	8	13	▲ 53.8	▲ 46.7	▲7.2
	従業員	4	7	2	13	15.4	13.3	2.1
	業況	2	2	9	13	▲ 53.8	▲ 26.7	▲27.2
	資金繰り	1	10	3	14	▲ 14.3	▲ 13.3	▲1.0
飲食・サービス業	売上	1	6	8	15	▲ 46.7	▲ 5.9	▲40.8
	採算	0	9	6	15	▲ 40.0	▲ 35.3	▲4.7
	仕入単価	0	5	10	15	▲ 66.7	▲ 41.2	▲25.5
	従業員	5	9	1	15	26.7	11.8	14.9
	業況	0	9	6	15	▲ 40.0	▲ 47.1	7.1
	資金繰り	0	10	5	15	▲ 33.3	▲ 11.8	▲21.6
不動産・その他	売上	3	10	12	25	▲ 36.0	▲ 23.8	▲12.2
	採算	3	10	12	25	▲ 36.0	▲ 33.3	▲2.7
	仕入単価	1	7	15	23	▲ 60.9	▲ 66.7	5.8
	従業員	2	19	2	23	0.0	28.6	▲28.6
	業況	1	13	11	25	▲ 40.0	▲ 15.0	▲25.0
	資金繰り	1	16	8	25	▲ 28.0	▲ 19.0	▲9.0

(全体)

従業員を除く項目で前回よりも悪化しており、特に売上が20ポイント以上、採算、業況が10ポイント以上悪化している。
 また、仕入単価は▲70ポイント以上と非常にマイナスポイントが高くなっている。従業員では人手不足が続いているが、若干改善されている。

(建設・建築業)

従業員、業況を除く項目で前回よりも悪化しており、特に売上、仕入単価が20ポイント以上、採算が10ポイント以上悪化している。
 また、仕入単価は▲90ポイント近くと非常にマイナスポイントが高くなっている。従業員では人手不足が続いているが、若干改善されている。

(製造業)

従業員、資金繰り以外の項目で前回よりも悪化しており、特に売上が30ポイント以上、採算、業況が20ポイント以上悪化している。
 また、仕入単価は▲80ポイント以上と非常にマイナスポイントが高くなっている。従業員では人手不足が続いているが、若干改善されている。

(卸・小売業)

全項目で前回よりも悪化しており、特に売上、採算、業況が20ポイント以上悪化している。仕入単価、業況は▲50ポイント以上、売上、採算は▲40ポイント以上と他の業種よりマイナスポイントが高い項目が多い。従業員は若干人手不足感が強くなっている。

(飲食・サービス業)

業況以外の項目で前回よりも悪化しており、特に売上が40ポイント以上、仕入単価、資金繰りが20ポイント以上悪化している。
 また、仕入単価は▲60ポイント以上と非常にマイナスポイントが高くなっている。従業員では10ポイント以上人手不足感が強まっている。
 一方、業況は若干改善されているが、依然として▲40ポイント以上とマイナスポイントは高くなっている。

(不動産・その他)

仕入単価、従業員以外は前回より悪化しており、特に業況は20ポイント以上悪化しておりマイナスポイントも▲40ポイント以上と高くなっている。仕入単価は若干改善されているが依然として▲60ポイント以上と非常にマイナスポイントが高くなっている。従業員では20ポイント以上人手不足感が弱まり適正となっている。

【質問 A】 3月と比較した4月～6月の先行き見通しについて

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値	対比増減
全体	売上	8	37	37	82	▲ 35.4	▲39.1	3.8
	採算	6	40	35	81	▲ 35.8	▲39.1	3.3
	仕入単価	1	15	64	80	▲ 78.8	▲69.2	▲9.5
	従業員	14	63	4	81	12.3	20.7	▲8.3
	業況	7	44	32	83	▲ 30.1	▲35.9	5.7
	資金繰り	2	62	18	82	▲ 19.5	▲18.3	▲1.2
建設・建築業	売上	0	11	6	17	▲ 35.3	▲33.3	▲2.0
	採算	1	11	5	17	▲ 23.5	▲34.8	11.3
	仕入単価	0	0	17	17	▲ 100.0	▲79.2	▲20.8
	従業員	5	12	0	17	29.4	29.2	0.2
	業況	1	11	5	17	▲ 23.5	▲41.7	18.1
	資金繰り	0	15	2	17	▲ 11.8	▲20.8	9.1
製造業	売上	1	7	5	13	▲ 30.8	▲46.7	15.9
	採算	1	8	4	13	▲ 23.1	▲43.8	20.7
	仕入単価	0	1	12	13	▲ 92.3	▲92.9	0.5
	従業員	1	11	1	13	0.0	6.7	▲6.7
	業況	1	8	4	13	▲ 23.1	▲37.5	14.4
	資金繰り	0	11	2	13	▲ 15.4	▲18.8	3.4
卸・小売業	売上	2	3	8	13	▲ 46.2	▲60.0	13.8
	採算	3	3	7	13	▲ 30.8	▲46.7	15.9
	仕入単価	1	4	8	13	▲ 53.8	▲66.7	12.8
	従業員	3	8	2	13	7.7	6.7	1.0
	業況	3	4	6	13	▲ 23.1	▲26.7	3.6
	資金繰り	1	9	3	13	▲ 15.4	▲26.7	11.3
飲食・サービス業	売上	3	4	8	15	▲ 33.3	▲17.6	▲15.7
	採算	0	7	8	15	▲ 53.3	▲29.4	▲23.9
	仕入単価	0	4	11	15	▲ 73.3	▲41.2	▲32.2
	従業員	3	12	0	15	20.0	11.8	8.2
	業況	0	9	6	15	▲ 40.0	▲41.2	1.2
	資金繰り	0	10	5	15	▲ 33.3	▲11.8	▲21.6
不動産・その他	売上	2	12	10	24	▲ 33.3	▲42.9	9.5
	採算	1	11	11	23	▲ 43.5	▲42.9	▲0.6
	仕入単価	0	6	16	22	▲ 72.7	▲66.7	▲6.1
	従業員	2	20	1	23	4.3	38.1	▲33.7
	業況	2	12	11	25	▲ 36.0	▲30.0	▲6.0
	資金繰り	1	17	6	24	▲ 20.8	▲14.3	▲6.5

(全体)

売上、採算、従業員、業況で前回より若干ではあるが改善する見通しである。一方、仕入単価、資金繰りは若干ではあるが悪化し、仕入単価は▲70ポイント以上とマイナスポイントが非常に高くなる見通しである。

(建設・建築業)

採算、業況、資金繰りは前回より改善し、特に採算、業況は10ポイント以上改善する見通しである。売上、仕入単価、従業員では前回より悪化し特に仕入単価は20ポイント以上悪化しマイナスポイントが最大の▲100ポイント(全回答者が悪化する見通しに回答)となる見通しである。

(製造業)

全業種で前回より改善し、特に採算は20ポイント以上、売上、業況は10ポイント以上改善する見通しである。しかしながら、仕入単価は依然として▲90ポイント以上と非常にマイナスポイントが高い状態が続く見通しである。従業員は人手不足から適正になる見通しである。

(卸・小売業)

従業員以外は前回より改善し、業況以外は10ポイント以上改善する見通しである。しかしながら、依然として仕入単価は▲50ポイント以上、売上が▲40ポイント以上とマイナスポイントが高い状態が続く見通しである。一方、従業員は人手不足が若干強まる見通しである。

(飲食・サービス業)

業況以外は前回より悪化し、特に仕入単価は▲30ポイント以上、採算、資金繰りは▲20ポイント以上と大きく悪化する見通しである。特に仕入単価は▲70ポイント以上、採算は▲50ポイント以上とマイナスポイントがさらに高くなる見通しである。一方、業況は改善する見通しであるが、依然として▲40ポイント以上とマイナスポイントは高い状態が続く見通しである。

(不動産・その他)

売上、従業員以外は前回より若干ではあるが悪化する見通しである。特に仕入単価は▲70ポイント以上とマイナスポイントが非常に高くなる見通しである。従業員は30ポイント以上と大きく改善し人手不足感が弱まる見通しである。

